

**地産地消をめざした、身体にも地域にも
やさしいカレー**

株式会社藤大 代表取締役 藤田太子 様

フードサービスグループ カレーチェーン・リーダー 藤坂さとみ様インタビュー



電子部品の検査・組立を行う株式会社 藤大（ふじはる）様が、社員らと共に「いつもでも働ける環境づくり」の一環として、ゼロから作り上げられたカレーショップです。

人と人とのつながりをとても大切にされている藤大さん、2020年秋から導入されたキッチンカーには従業員のお子さんの絵をラッピングされています。親しみを感じるキッチンカーでつながりのある企業さんや地域へ積極的に販売に行かれています。かめおか作業所の福神漬けも職員とのつながりから使つてくださつていて、ほぼ毎週末に作りたての福神漬けをメンバーや一緒に納品させていただ

A photograph showing two women seated at a wooden table in what appears to be a traditional Korean restaurant. The woman on the left is wearing a dark cardigan over a white top and has her hands resting on the table. The woman on the right is wearing a dark t-shirt and a red apron, also with her hands on the table. They are both looking towards the camera. In the background, there's a window with a decorative lattice frame and some hanging decorations.

お話しくださる藤田様(左)と藤坂様(右)

いています

今回はかめおか作業所の
食品加工グループから八田
真由美さんがインタビュー
に行ってくださいました！

八田 「いつもかめおか作業所の福神漬けを使つてくださつてありがとうございます！今日は私から質問させてください」

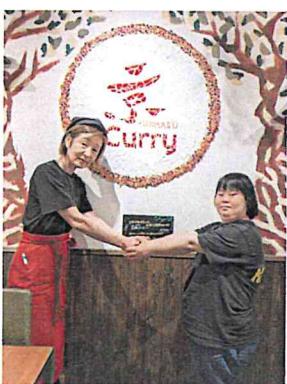
はですか？

藤坂 「カツカレーです！トントンカツには京都ポークというブランドの豚肉を使っています。カレーは市販のルー・や化学調味料は一切使わずに、鶏ガラや地元の野菜をじっくり煮込んで取ったスープと、飴色になるまで丁寧に炒めた玉ねぎをさらに煮込みスペースを組み合わせた独自のルーを手づくりして加えています。年齢を問わずに召し上がるっていただける身体にやさしい欧風カレーです。

八田 「福神漬けの味はどうですか？」

藤坂 「赤色に染められていない自然な色とシンプルな味で、美味しいとお客様

田 「(店頭で置き売りしている)かめおか作業所の味噌をお薦めして購入してくださいましたお客様が次の来店時には同行者に薦めてくださったりすることがあります。このお味噌をFUJIHARUのメニューに使用できないか思案したり、もつと広く知つてもらえる方法を考えています。



握手する藤坂様(左)と八田さん(右)

■株式会社 藤大

京都府亀岡市蘚田野町太田竹ヶ花10-6
TEL : 0771-24-3051

■京HUJIHARUカレー

京都府亀岡市大井町並河3-8-22
TEL : 0771-20-6383

営業時間：11:00-15:30 (15:00 L.O.)

定休日：毎週月・火曜日

駐車場：あり (P1: 7台、P2: 4台)
URL: <https://www.fujiharu-kyoto.jp/curry>



オススメのカツカレー1,400円
※ホームページより

ち着く雰囲気の店内で、自家製のジンジャエールを頂きながら有意義なお話を聞かせていただきました。他にも、地元農家さんから仕入れられた小松菜やいちごで作られた自家製ジュー
スなどもおかげで、ぜひ自身の家族を連れて力
レーと小松菜のジュースを目当てに来店させていた
きたいと思いました。

「ちょっと聞いてよ！」

第46回

かきたに かずみ

柿谷 和美さん

(ホームすみれ／第三かめおか作業所)



「うん…」とゆっくり考えながらいろいろと話してくれました。

「一作業所ではどんな仕事をしていますか？」

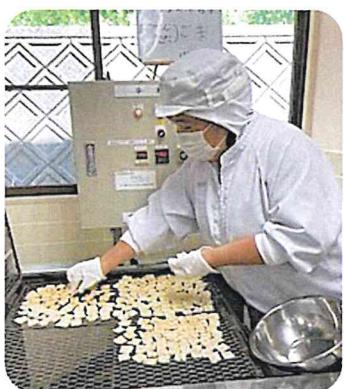
「お寺から注文がきていて、それが大きなお引きなので焼くのが大変です。それと、前に雷で停電になつたときは大変でした。停電になると、機械も動かなくなつたので。

「一仕事はどうですか？ 大変ですか？」

「お寺から注文がきていて、そ

第三かめおか作業所で働き、グループホーム「ホームすみれ」で生活している柿谷和美さん。仕事のこと、くらしのことを「うん…」とゆっくり考えながらいろいろと話してくれました。

和菓子グループで、餅つきの機械を使って餅つきをしたり、あられ焼きをしたりしています。また納品や集金、商品の引き取りの仕事をもします。



作業中の柿谷さん

今2人であられ焼きをしているけど、もう1人くらい焼く人がいたらしいな」と思っていました。

「ホームでのくらしはどうですか？ お休みのときはどんなふうに過ごしていますか？」

部屋の掃除をしたり、洗濯、お布団干しをしたりします。樂しみは部屋でテレビやDVDを見たり、ケータイでゲームをしたりすること。車やバイクが好きなので、ユーチューブで動画をみたりもしています。こんなバイクに乗って高速を走りたいな」とか思いながら見ています。音楽も聴きます。歌謡曲や演歌、英語の曲も…いろいろ聴いています。ゴロンと横になつてのんびり過ごします。

旅行に行つてたけど、コロナで行けなくなつて、日帰り旅行もいいけど、早く一泊旅行に行けるようになつたらいいなと思います。

部屋で過ごす以外は、時々ガイドヘルパーを利用して京都とかに出かけます。この間はふくろうカフェ、一二ぶたカフェに行つて楽しかつたです。大阪の通天閣とか御堂筋、神戸の南京町とか、いろいろなところに行つてみたいなと思っています。どこかいいところがあつたら教えてほしいです。

ホームは他のメンバーも一緒にくらしているので、困つたことがあつたときは作業所やホームの職員に話を聞いてもらつて

います。友達に話を聞いてもらうときもあります。

「これからのことについても、仕事は忙しくて大変だけど、お客様の言葉に励まされながらがんばっている柿谷さん。これからも元気に仕事や楽しみに邁進することと思います！」



柿谷さん達の作ったあられ

職員に聞きました!

支援員はどんなお仕事?

～第一かめおか作業所編～



第二かめおか作業所で働く職員に、支援員はどんな仕事なのか、楽しいこと、大変なことをインタビューしました！

Q. この仕事に就かれたきっかけを教えてください

A. 消防士を定年退職し、毎日何をして過ごせばいいのかわからず時間を持て余していました。知人の紹介などでいくつか仕事をしましたが、新しい仕事を探しているときにハローワークでずっと求人募集が出ていた亀岡福祉会が気に

なり応募することにしました。『利用者さんと楽しく過ごすことが仕事です』とのことで、『楽しそうでいいな』と思つたんです。

Q. 入職されて9年目ですが仕事はどうですか？

A. 今はさわさわグループですが、以前はリサイクルグループにも居ました。

リサイクルでは体力とメンバーサンとの付き合いのむずかしさを感じましたが、さわさわでは気力・精神力が必要だと感じています。

自分が内向的な性格なので、支援するうえでもメンバーさんと心を通わすことには受け身になってしまいますが、未だに支援員のむずかしさを痛感しています。

Q. この仕事の良いところは？

A. メンバーさんが何かに挑戦され、それが成功したときは『すごいなあ！』と嬉しくなります。

またメンバーさんがそれぞれの個性を活かした仕事に取り組んでおられる姿を見守ることが楽しいです。

Q. 今後の目標などありますか？

A. 75歳まであと4年。がんばります！



体力は資本！休憩時間は筋トレをしています！

私たちと一緒に働いてみませんか？

【時給】1000円～ ★未経験歓迎

【待遇】年度末賞与あり、通勤手当あり、マイカー通勤可

【勤務地】社会福祉法人亀岡福祉会が経営する作業所・グループホームです。すべて亀岡市内です♪

【応募】まずはお気軽にお電話ください。

質問・相談などもお気軽に!!

【お問い合わせ先】

社会福祉法人亀岡福祉会

亀岡市稗田野町佐伯大門30-1

☎0771-24-2596 (担当／井内)

7/13	株式会社 楠新新聞舗 様	能勢工務店 様	コーヒーセット
7/27	ギフトセット		

ご寄付

ご寄付ありがとうございました。

時

ここ数年の新型コロナワイルスの流行で、自宅で過ごす時間が長かったこともあります。ですが、時にはぼーっと可愛らしいメダカ達を愛するのが最近の日課になっています。

癒しを求めてペットを飼うようになった。ペットといつてもハムスターやメダカなので大きな声でペットを飼っていますとは言いにくい。忙しい毎日だが、時にはぼーっと可愛らしいメダカ達を愛するのが最近の日課になっている。

メダカの飼育法をインターネットやユーチューブなどで調べているとメダカにもいろんな種類があることがわかった。錦鯉のような模様があるメダカやグッピーのようなヒレ長のメダカ、頬っぺただけ赤い可愛らしいメダカなど、見るだけで楽しむことができる品種が多いことにビックリした。そんなメダカ達との出会いを求めメダカのブリーダーさんが集まる販売会に行つたことがあるが、余りの人の多さに人酔いをしそうになつたことも。それだけメダカの魅力に魅せられる人が増えてきているのも納得である。

(Y)